

令和4年度 飯山満公民館 「目玉事業」の評価

- 1 事業名 家バルのススメ (全2回)
- 2 実施日時 令和4年 7月 2・16日 (土)
15時30分～17時30分
- 3 会場 飯山満公民館 実習室
- 4 参加人数 24名
- 5 事業のねらい
 - ①公民館を知らない世代を呼び込むこと
(新しい利用者層の開拓)
 - ②利用率の低い実習室の活用
- 6 評価

今年度は、地域課題の一つ、「大人が学習する場と機会の提供」及びふなばし一番星プランのリーディングプロジェクトにある「新しい利用者層の開拓」を重点に事業を進めてきた。当館ではどんな講座を企画しても申し込みされる方は高齢者が多いため、この講座は思い切って、65歳までという年齢制限を設け、併せてオンライン申請での受付のみとした。

プロのシェフに学ぶ「ビール」と「ワイン」に合わせた安価で美味しいおつまみ作りを全2回の学級講座として行った。お酒に合うおつまみ作りのため、2回とも1本ずつ、アルコール又はノンアルコール飲料を付け、作ったものを試食した。ご夫婦や男性1人で参加される方もいて、みなさん、学校の調理実習のように調理や試食を楽しんでおり、参加者同士仲良くなり、他の講座にも申込されていた。

半数以上の方が初めて公民館の講座を受講した方で、なおかつ、30代から50代の方が6割近くを占めていたので、ねらいは①も②も概ね達成できた。

講座後のアンケートでも高評価で「ぜひ、来年は日本酒編を」の声にお応えして、5年度は「家バルII日本酒に合うおつまみ」を開催予定。また、初めて公民館を訪れた方々からの声を聞くことができ、来年度の計画の参考になった。次年度も「大人が学習する場と機会の提供」及び「新しい利用者層の開拓」の実現に向け、地域の方に興味を持っていただけるような講座を計画している。